

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2007-537786(P2007-537786A)

【公表日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2007-510769(P2007-510769)

【国際特許分類】

A 4 4 B 19/16 (2006.01)

B 6 5 D 33/25 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 19/16

B 6 5 D 33/25 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

閉止デバイスであって、

所定の長さにわたってインターロックするように配置された第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップであり、前記第 1 ファスナーストリップは表面改変部を有し、前記閉止デバイスの咬合を視覚的に確認できるように、前記閉止デバイスの咬合の際に前記表面改変部が開閉する、ところの第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップを備え、

前記表面改変部は、蛍光材料から成り、前記閉止デバイスの咬合の際に、明るく見えるか、または、暗く見える、ことを特徴とする閉止デバイス。

【請求項 2】

閉止デバイスであって、

所定の長さにわたってインターロックするように配置された第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップであり、前記第 1 ファスナーストリップは表面改変部を有し、前記閉止デバイスの咬合を視覚的に確認できるように、前記閉止デバイスの咬合の際に前記表面改変部が開閉する、ところの第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップを備え、

前記閉止デバイスは、第 1 材料及び第 2 材料を含み、前記表面改変部は、前記第 1 材料を通じて、前記第 2 材料内部に伸長する、ことを特徴とする閉止デバイス。

【請求項 3】

前記第 1 ファスナーストリップは、第 1 閉止エレメントおよび前記第 1 ファスナーストリップから伸長する第 1 翼部を含み、

前記第 2 ファスナーストリップは、前記第 1 閉止エレメントと係合するための第 2 閉止エレメント、及び、前記第 1 翼部と係合するための第 2 翼部を含み、

前記第 1 及び第 2 ファスナーストリップが咬合する際、前記第 1 ファスナーストリップの少なくとも一部が撓み、それによって前記第 1 ファスナーストリップが変形し、前記表

面改变部が第 1 の視覚的状态から第 2 の視覚的状态へ变化するように、前記第 1 翼部は前記第 2 翼部と係合する、  
ことを特徴とする請求項 2 記載の閉止デバイス。

【請求項 4】

閉止デバイスであって、

所定の長さにわたってインターロックするように配置された第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップであり、前記第 1 ファスナーストリップは表面改变部を有し、前記閉止デバイスの咬合を視覚的に確認できるように、前記閉止デバイスの咬合の際に前記表面改变部が開閉する、ところの第 1 及び第 2 インターロック式ファスナーストリップを備え、

前記第 1 ファスナーストリップは第 1 閉止エレメントを含み、前記第 1 閉止エレメントは前記第 1 ファスナーストリップに一体的に取り付けられかつそこから伸長する第 1 ウェブを備え、前記第 1 ウェブは、前記表面改变部が配置されたアローヘッドで終端する、ことを特徴とする閉止デバイス。

【請求項 5】

前記第 1 ファスナーストリップは、第 1 材料及び第 2 材料を含み、前記表面改变部は前記第 1 材料を通じて前記第 2 材料内部に伸長し、

前記第 2 材料は、前記表面改变部を見て、前記表面改变部が閉止される際に、実質的に隠れており、

前記閉止デバイスはコンテナ側壁の一部を含み、前記第 1 材料は容器側壁の一部であり、かつ、前記第 2 材料は前記閉止デバイスの他の部分であり、

前記第 1 材料は不透明であり、

前記第 2 ファスナーストリップは半透明である、  
ことを特徴とする請求項 4 記載の閉止デバイス。